



2021年3月期 第1四半期決算
(2020年4月1日～2020年6月30日)

補足説明資料
2020年7月31日（金）

デジタルアーツ株式会社
(証券コード 2326)

2021年3月期 第1四半期決算補足説明資料

決算のポイント

- ① **連結売上高が前年同期比で13.2%増加し、第1四半期売上高は過去最高**
- 企業向け市場において、新型コロナウイルス感染症対策としてテレワークが急速に普及し、場所・場面を問わずWebアクセス制御が可能となるi-FILTERシリーズの売上が引き続き拡大
 - セキュリティコンサルティングサービスを提供している子会社のデジタルアーツコンサルティング（以下、DAC）が順調に成長
 - 公共向け市場において、教育機関ではICT教育促進のために、児童生徒がタブレットを活用できる環境整備が進んでおり、i-FILTERシリーズの売上が引き続き拡大
 - GIGAスクール構想の案件獲得が始まったが、当四半期に与える影響は軽微
- ② **売上原価が前年同期比で141百万円増加した一方、販管費が47百万円減少し、営業利益は17.2%増加**
- 売上原価はDACのコンサルタント人員増強による労務費の増加
 - 販管費は新型コロナウイルス感染症対策として、社外イベントを自粛したことによる広告宣伝費の減少、在宅ワーク・オンライン営業活動による交通費の減少

2021年3月期 第1四半期決算補足説明資料

連結決算ハイライト

連結売上高

売上高： **1,413** 百万円 (前期比 +164百万円 / +13.2%)

企業向け市場・公共向け市場においてi-FILTERシリーズの案件獲得が進み増収
DACにおいて新規案件獲得が順調に進み増収

営業利益

営業利益： **485** 百万円 (前期比 +71百万円 / +17.2%)

売上原価はDACのコンサルタントの人員増強により労務費が増加
販管費は社外イベント自粛に伴い広告宣伝費・交通費が減少

経常利益

経常利益： **489** 百万円 (前期比 +77百万円 / +18.8%)

営業利益の成長に伴う増益

親会社株主に帰属する
四半期純利益

四半期純利益： **334** 百万円 (前期比 +53百万円 / +19.1%)

経常利益の成長に伴う増益

連結業績

(単位：百万円)

項目	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	前期比	2021年3月期 通期 業績予想
契約高	1,146	1,463	+27.6%	—
売上高	1,249	1,413	+13.2%	7,500
売上総利益	962	986	+2.4%	5,650
販売管理費	548	501	△8.7%	2,100
営業利益	413	485	+17.2%	3,550
営業利益率	33.1%	34.3%	—	47.3%
経常利益	411	489	+18.8%	3,550
親会社株主に帰属する 四半期純利益	280	334	+19.1%	2,450
ROE	3.6%	3.9%	—	—
1株あたり配当金	—	—	—	55.00円

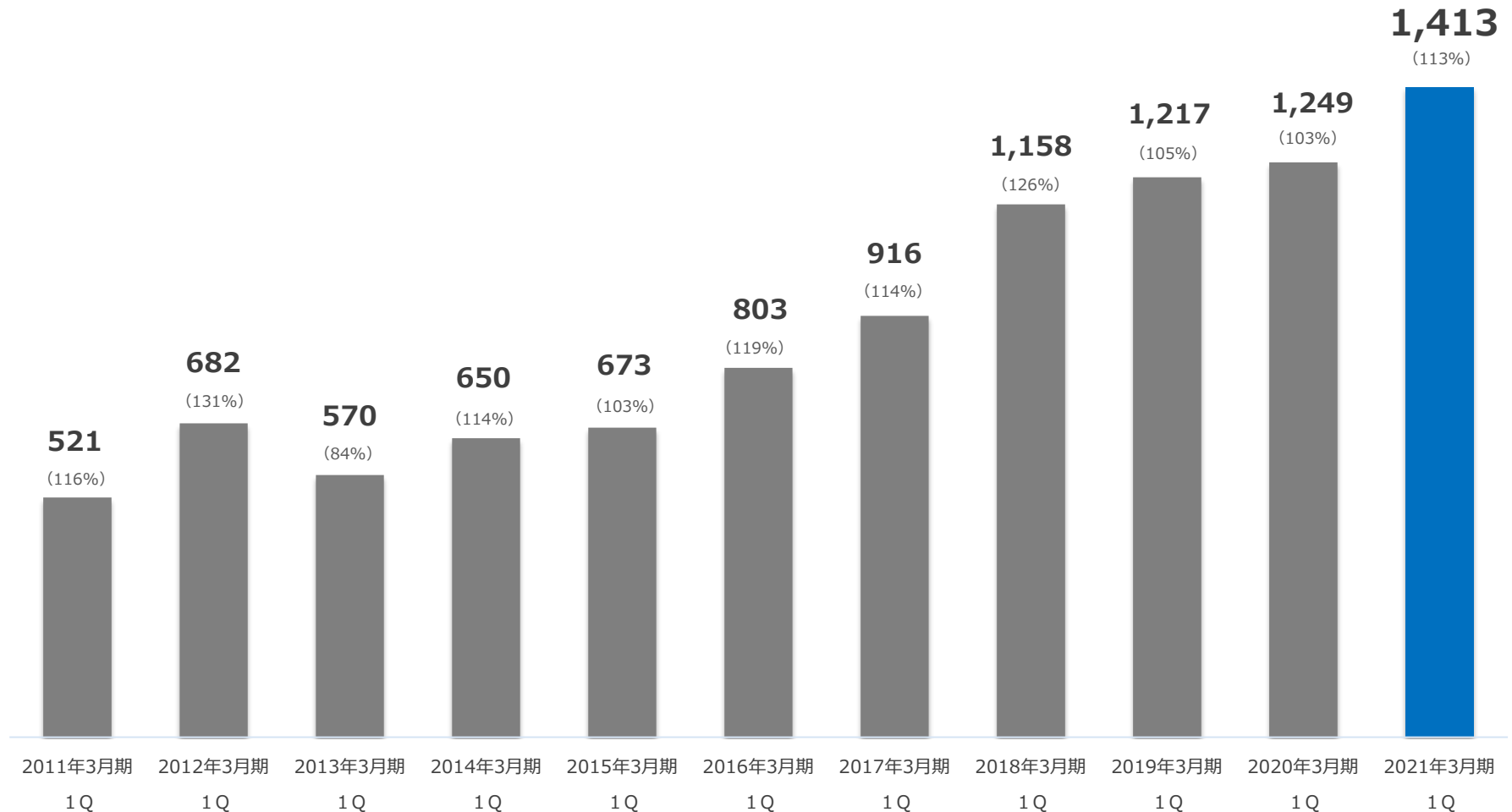
単体業績

(単位：百万円)

項目	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	前期比	2021年3月期 通期業績予想
契約高	1,109	1,337	+20.5%	—
売上高	1,211	1,287	+6.3%	7,000
売上総利益	950	977	+2.8%	5,550
販売管理費	517	455	△12.0%	2,050
営業利益	433	522	+20.5%	3,500
営業利益率	35.8%	40.5%	—	50.0%
経常利益	432	526	+21.8%	3,500
四半期純利益	297	368	+23.9%	2,420
ROE	3.9%	4.2%	—	—

企業向け市場・公共向け市場が好調に推移し、1Q売上高過去最高

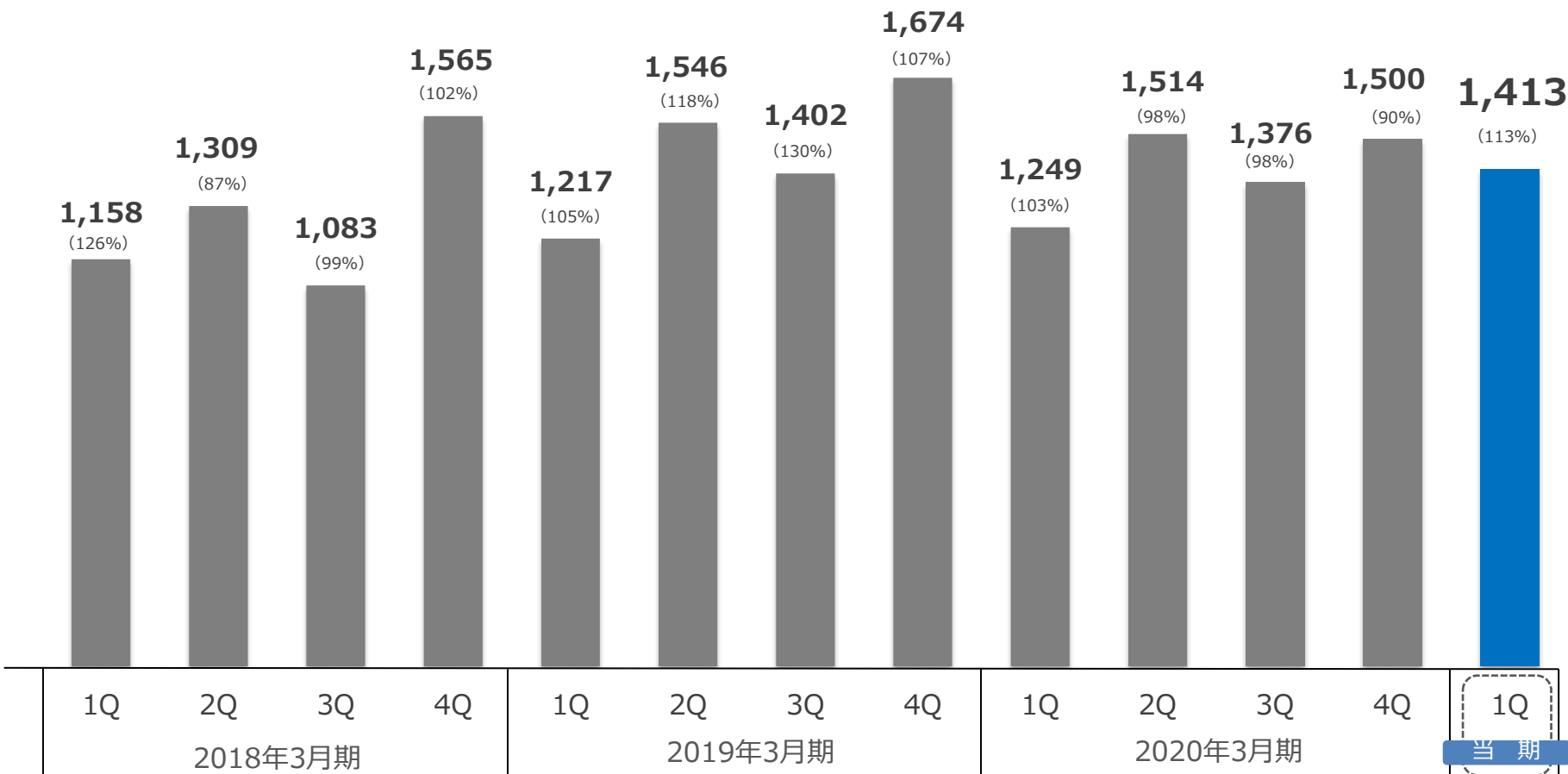
(単位：百万円)



※ パーセンテージは前期比

企業向け・公共向け市場の好調により、四半期売上高として高水準をマーク

(単位：百万円)



※ パーセンテージは前年同期比

- DACのコンサルタント人員増強に伴う労務費（売上原価）の増加
- 前期2Qよりクラウド製品等のソフトウェア減価償却開始による減価償却費（売上原価）増加
- パートナー総会などの社外イベント自粛に伴う広告宣伝費（販管費）の減少
- コロナ対策として開始した在宅ワーク・オンライン営業活動に伴う交通費（販管費）の減少

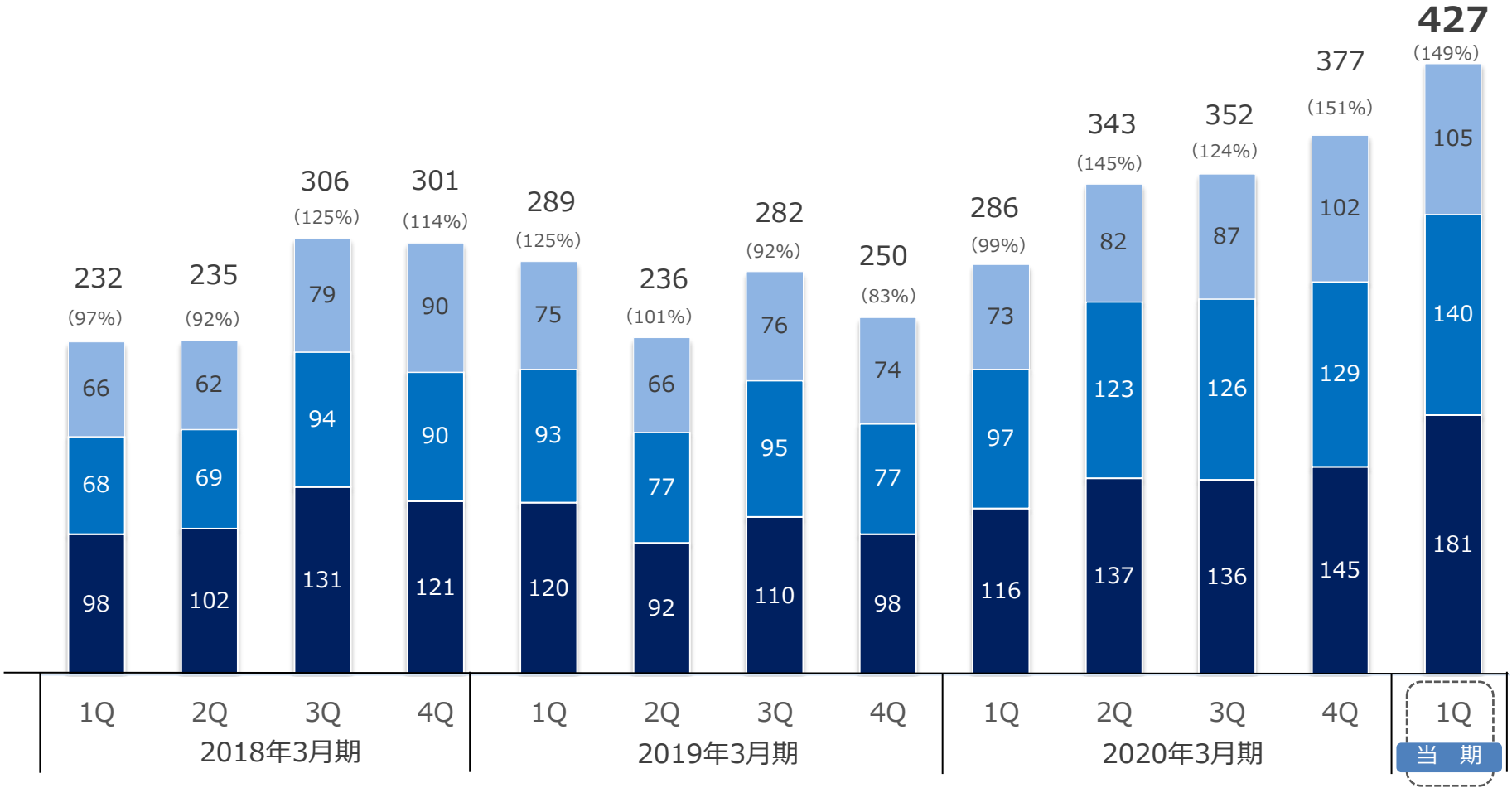
(単位：百万円)

項目	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	前期比	主な増減要因
売上原価	286	427	+141	
労務費	116	181	+65	DACのコンサルタント人員増強
減価償却費	97	140	+43	前期2Qよりクラウド製品等のソフトウェア償却費増加
他勘定振替 その他製造原価	73	105	+32	DACの受注案件増加に伴う外注費用の増加
販売費及び一般管理費	548	501	△47	
人件費	263	272	+8	
広告宣伝費	70	32	△37	パートナー総会などの社外イベントの自粛に伴う減少
その他	215	195	△19	在宅ワーク・オンライン営業活動に伴う交通費の減少

DACのコンサルタント人員増強に伴う労務費の増加 前期 2Qよりクラウド製品等のソフトウェア減価償却開始による増加

(単位：百万円)

■ 労務費 ■ 減価償却費 ■ 他勘定その他

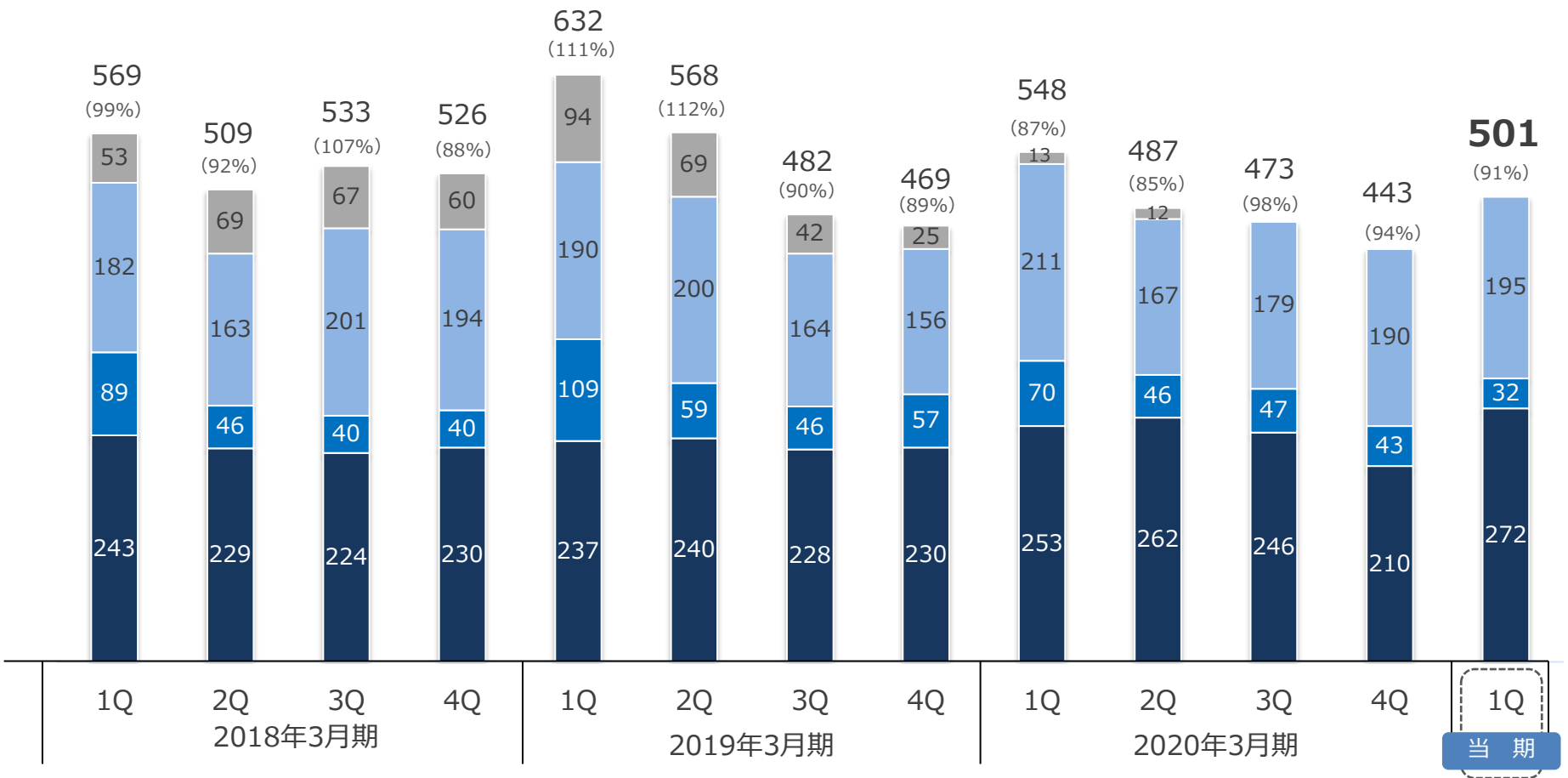


※ パーセンテージは前年同期比

パートナー総会などの社外イベント自粛に伴う広告宣伝費の減少
 コロナ対策として開始した在宅ワーク・オンライン営業活動に伴う交通費の減少

■ 人件費 ■ 広告宣伝費 ■ その他 ■ 海外費用

(単位：百万円)



※ パーセンテージは前年同期比

連結貸借対照表

- 自己資本比率は80.2%となり、財務健全性を高く保持
- ROEおよびROAも高い水準を維持し、資本効率良好

(単位：百万円)

項目	2020年3月期 1Q末残高	2021年3月期 1Q末残高	増減率	2020年3月期 期末残高
流動資産	7,582	8,671	+14.4%	8,733
(現金及び預金)	6,430	7,609	+18.3%	7,651
固定資産	2,148	2,097	△2.4%	2,118
総資産	9,730	10,769	+10.7%	10,852
流動負債	2,016	2,067	+2.6%	2,125
固定負債	46	49	+6.1%	46
自己資本	7,630	8,635	+13.2%	8,652
純資産	7,667	8,652	+12.8%	8,680
自己資本比率	78.4%	80.2%	—	79.7%
ROE	3.6%	3.9%	—	19.4%
ROA	2.9%	3.1%	—	15.4%

2021年3月期 第1四半期決算補足説明資料

市場別詳細

- 企業向け市場は、i-FILTERシリーズの好調およびDACの成長により 16.7%の増収
- 公共向け市場は、教育機関におけるICT教育促進によるi-FILTERシリーズの好調により 17.8%の増収
- 家庭向け市場は、青少年のフィルタリング導入が進むも、前期2Qのキャリアへの提供価格引き下げにより 18.1%の減収

連結売上高

売上高： **1,413** 百万円 (前期比 +164百万円 / +13.2%)

企業向け市場

売上高： **847** 百万円 (前期比 +121百万円 / +16.7%)

公共向け市場

売上高： **451** 百万円 (前期比 +68百万円 / +17.8%)

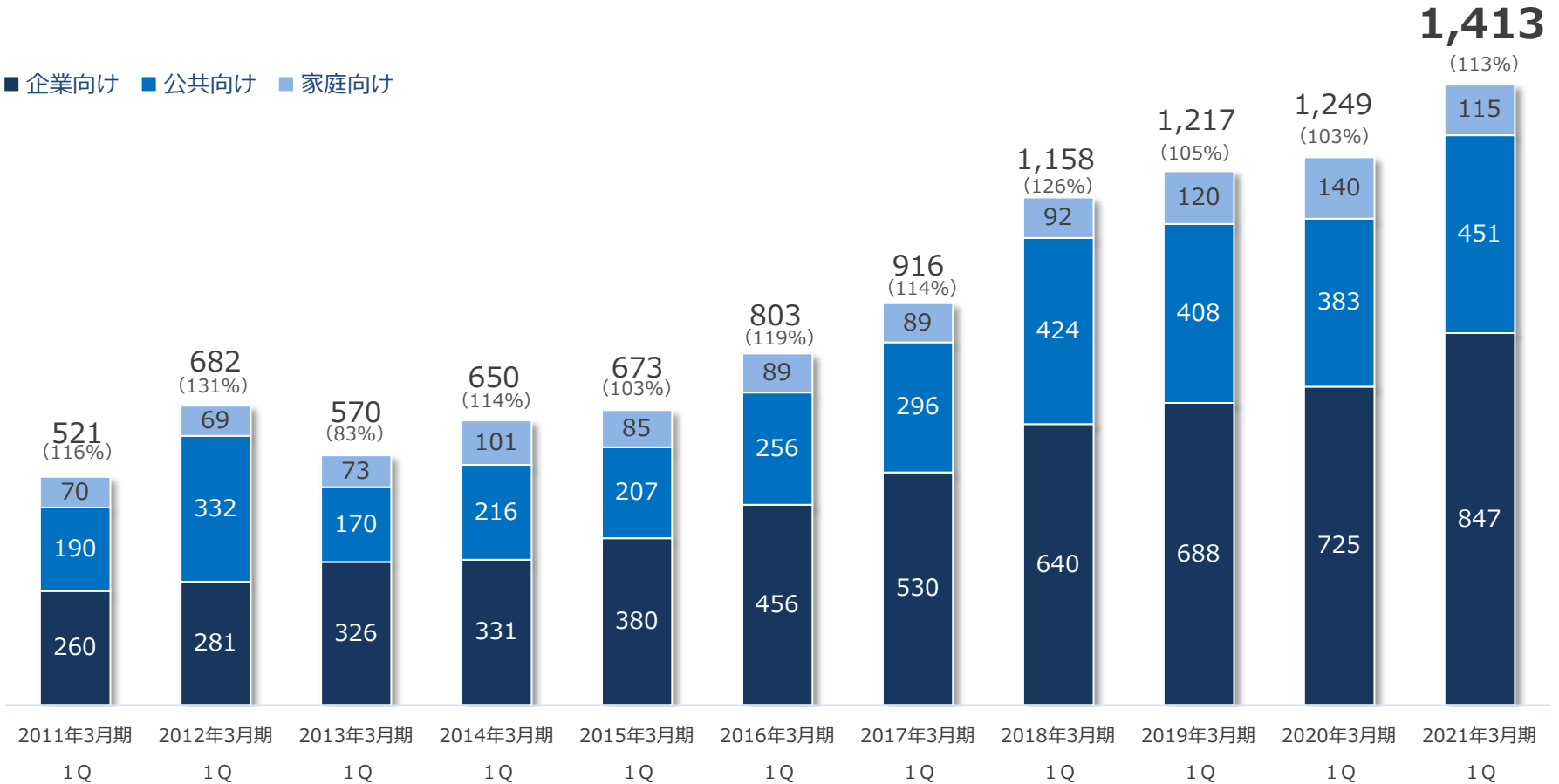
家庭向け市場

売上高： **115** 百万円 (前期比 △25百万円 / △18.1%)

企業向け市場および公共向け市場の売上高が堅調に推移し、1Q売上高として過去最高

(単位：百万円)

■ 企業向け ■ 公共向け ■ 家庭向け

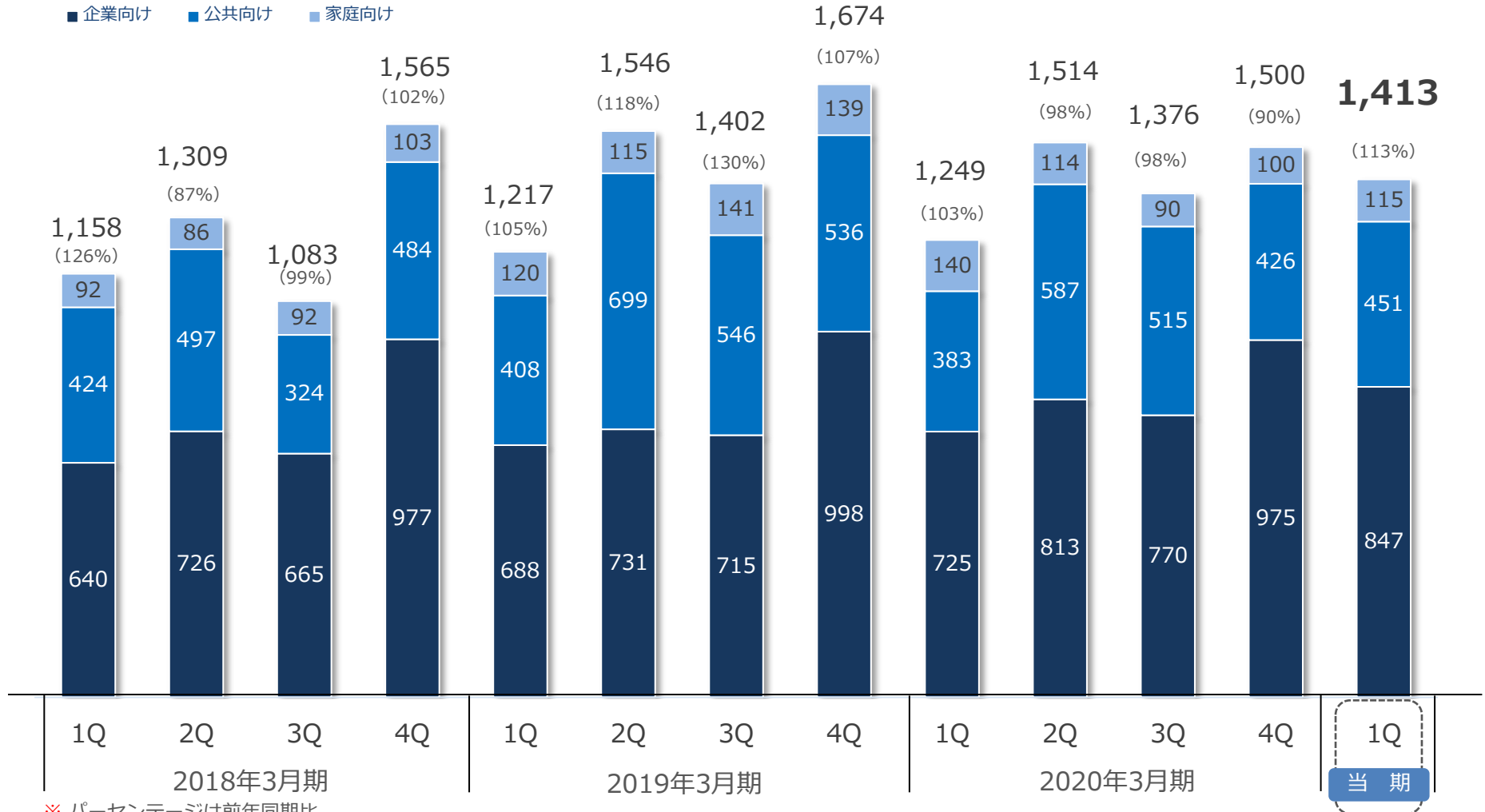


※ パーセンテージは前期比

企業向け市場および公共向け市場の売上高が堅調に推移し、 四半期売上高として高い水準をマーク

(単位：百万円)

■ 企業向け ■ 公共向け ■ 家庭向け



※ パーセンテージは前年同期比

2021年3月期 第1四半期決算補足説明資料

企業向け市場

- テレワークの普及により、場所を問わずWebアクセス制御が可能となるi-FILTERシリーズの売上が引き続き拡大
- DACのセキュリティコンサルティングサービスが順調に拡大

i-FILTER
Series

前期比 **112.5 %**

m-FILTER
Series

前期比 **104.9 %**

FINALCODE

前期比 **71.6 %**

DigitalArts Consulting

前期比 **344.2 %**

2021年3月期 第1四半期決算補足説明資料

公共向け市場

- ICT教育促進のため、児童生徒がタブレットPCを活用できる環境整備が進められており、i-FILTERシリーズの売上が拡大
- GIGAスクール構想の案件獲得が始まったが、当四半期に与える影響は軽微
- m-FILTERは文教における新規大型案件獲得により増加

i-FILTER
Series

前期比

115.8 %

m-FILTER
Series

前期比

141.9 %

FINALCODE

前期比

75.5 %

2021年3月期 第1四半期決算補足説明資料

家庭向け市場

- 拡大する未成年者のスマートフォン利用に対して、青少年のインターネット利用に関する法律が厳格化され、フィルタリング利用が増加している一方で、キャリアによるエンドユーザーに対するサービス無償化に伴うキャリアへの提供価格の引き下げを前期 2 Q に実施したことにより減収
- 複数年パッケージ製品や複数の端末で利用可能な「i-フィルターfor マルチデバイス」の販売は低調に推移

モバイル版
その他

前期比

72.3 %

パソコン版

前期比

96.2 %

2021年3月期 第1四半期決算補足説明資料

2021年3月期 通期業績予想

2021年3月期 連結損益業績予想

- 企業向け市場におけるクラウドサービスの成長と、公共向け市場における「GIGAスクール案件」において受注を獲得し、高い成長を目指す

(単位：百万円)

項目	2020年3月期実績	2021年3月期計画	増減率
売上高	5,641	7,500	+ 32.9 %
売上総利益	4,280	5,650	+ 32.0 %
販売管理費	1,952	2,100	+ 7.6 %
営業利益	2,328	3,550	+ 52.5 %
経常利益	2,326	3,550	+ 52.6 %
親会社株主に帰属する当期純利益	1,590	2,450	+ 54.0 %
1株当たり配当金	50.00 円	55.00 円	—

2021年3月期 個別業績予想

(単位：百万円)

項目	2020年3月期実績	2021年3月期計画	増減率
売上高	5,336	7,000	+31.2 %
売上総利益	4,238	5,550	+30.9 %
販売管理費	1,881	2,050	+9.0 %
営業利益	2,357	3,500	+48.5 %
経常利益	2,359	3,500	+48.4 %
当期純利益	1,613	2,420	+50.0 %

■ 配当について

株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しております

2021年3月期の目標配当性向を連結当期純利益の31.5%

2021年3月期年間剰余金配当予想額は1株当たり55.00円

	1株当たり配当金（円）			連結配当性向
	中間	期末	合計	
2020年3月期	25.00	25.00	50.00	44.0%
2021年3月期（予想）	25.00	30.00	55.00	31.5%

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であります。本見通しは、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したもので、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。今後、重要な変化がある場合は適宜開示します。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しています。

- デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、info board、ARS、Active Rating System、ACTIVE RATING、ZBRAIN、D-SPA、SP-Cache、NET FILTER、White Web、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER File Scan、Mail Detox、FinalCode、i-フィルター、DigitalArts@Cloud、Chat@Cloud、Dアラート、Dコンテンツ、当社・当社製品関連の各種ロゴ・アイコンはデジタルアーツ株式会社の商標または登録商標です。
- その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

DigitalArts®

-より便利な、より快適な、より安全な
インターネットライフに貢献していく-